

釧路南ロータリークラブ会報

第 13 回 例会報告 2024.11.1 通算 1986 回

点 鐘 佐藤会長

ロータリーソング

「君が代」「奉仕の理想」「四つのテスト」



ソングリーダー 工藤 ゆかり会員

お客様と来訪ロータリアンの紹介

入会記念

該当者なし

誕生祝



和田 優会員 昭和 21 年 11 月 6 日 (78 歳)



前回発表 工藤 ゆかり会員

結婚祝



高橋 康成会員 昭和 48 年 11 月 15 日 (57 年目)

伊東 良孝会員 昭和 53 年 11 月 3 日 (46 年目)

会長挨拶



みなさんこんにちは

11月に入りまして今年も残り2カ月となりました。お盆の終わりころにスタッドレスタイヤのCMを見てこれから訪れる冬を感じ、ここ最近はクリスマスケーキのCMも始まり少しずつ年末を感じております。

さて、本日は「ロータリー財団月間に因んで」の例会となります。

皆様におかれましては言わずもがなではあるかと思いますが、国際ロータリーが制定する11月の特別月間のプログラムとなります。日本独自では10月が米山月間という事もあり、当クラブは米山委員会とロータリー財団委員会が合体したロータリー財団米山委員会として設置しておりますのでちょうどタイミングかと思えます。今年の7月に、私と佐久間幹事も福井委員長とともに「ロータリー財団米山」の研修で帯広に行き参りました。詳しいお話はこの後、当クラブのロータリー財団米山委員会を永く務めていただいている長倉副委員長にお願いするといたしまして、私からはこれから実施予定をしております今年度の当クラブの「地区補助金事業」について少しお話をさせていただきます。

以前の例会でもお伝えはさせていただいておりますが、今年度は「光の未来 青少年プロジェクト」と題しまして1月中旬から始まる釧路の冬のイベントの「くしろウィンターパーク」の会場にて市内在住の小学生やその父兄とともにパーク内にイルミネーションを設置いたします。設置の後「点灯式」や「氷雪の運動会」といったイベントを行い、地元の子供たちとの交流をはかり、「氷都くしろ」の再認識をしながら青少年育成、地域貢献の一助を担いたく思っております。なおこちらの事業につきましては既に地区の補助金委員会より承認をいただ

ております。

正式な日時は、ウィンターパークの開始時期、学校の冬休み、天候の兼ね合いも考慮し現在検討中ではございますが1月中旬の予定です。イベント後には、会場を移してのクラブメンバーにて直会、懇親の場を設ける予定でありますので時期的には寒さの厳しい時期ではありますが多数のご協力を賜りたいと思っております。

最後になりますが、先日の挨拶でもお話をいただいたロータリーの根幹である「ポリオ撲滅」と併せて、「青少年育成」「地域貢献」の活動につきましても今年度も引き続き積極的に行っていきたいと思っておりますので重ね重ねご協力のお願いをさせていただき会長挨拶とさせていただきます。

本日もどうぞよろしくお願いいたします。

幹事報告



1. ロータリーの友 11月号が届いております
 2. 釧路ロータリークラブ様、釧路西ロータリークラブ様、釧路東ロータリークラブ様、釧路ベイロータリークラブ様、根室ロータリークラブ様、浜中ロータリークラブ様より11月プログラムが届いております
 3. 根室ロータリークラブ様より、クラブ会報が届いております
 4. RI日本事務局様より、財団室NEWS11月号が届いております
- こちら2~5におきましては回覧にてご確認よろしく申し上げます。

委員会報告



石井会員 ニコニコ献金発表

・本日のプログラム

「ロータリー財団月間に因んで」

担当 ロータリー財団米山委員会



長倉ロータリー財団副委員長 講話

本日は、ロータリー月間に因んでクラブ会員皆様に、分かり難いと言われているロータリー財団についてお話をさせていただきます。

今回は、ロータリー財団とはいったい何かを概略を理解できるように簡単に説明いたします。

まず、身近なところでは、今年度、佐藤潤年度では、釧路市の冬季に行われますウインターパークの電飾（イルミネーション）の制作を実施の予定です。これには、当クラブ会員と市内の小学生を交えて電飾を作成するという事業となっております。地区からの補助は66%です。つまり三分の二は、地区補助金からの拠出となります。

地区補助金が66%拠出されるのは、昨年の6月頃に地

区の財団委員会内にて、地区補助金審査委員会が行われバガナーを始め2500地区の財団委員長、副委員長、地区補助金メンバー等で各クラブから挙がってきた補助金事業の申請書をチェックして、可否と補助金割合を決まる訳です。

否決されるケースは、希ですが。

例えば、事業をやるに当たっての視察、3年を超える継続事業、いクラブで2つ以上の申請などです。

それ以外は全て通るのですが、補助金が今回のような66%か30%の判断は、簡単に言うと単なる物品の寄贈だと30%、クラブ会員の労力等の奉仕事業や、地域の方々を巻き込んだ事業は66%拠出されると考えてもらえばいいです。

私が思う感心させられる他クラブの事業では、根室西クラブで行われた地域での小学生の合唱コンテスト。釧路西での釧路西ロータリークラブ杯の小学校のバレーボール大会、小中高校の柔道大会これは、30数年続けています。

財団には、今話をしている地区補助金、とグローバル補助金、福井さんが活躍しているVTT、学友・奨学金とありますが、前は委員会でしたが、分かり難さがあったので、チームとしています。

そして、この財団の委員会は、皆様が毎年100ドルとか150ドルとか

言われている財団の年次寄付から成り立っています。

つまり、毎年地区補助金を利用している当クラブとしては、最低でも受ける補助金以上の寄付をしていないと、審査委員会で寄付以上の申請してきたなど、言われる訳です。

過去には、寄付ゼロなのに、補助金を申請してきたクラブもありました。

審査委員会では、「なぜ?」と思われま。

審査委員会では、補助金申請してきたクラブの財団の年次寄付の金額も確認していますので、今後会長に成られる方は覚えておいてください。

過去を遡ると、地区補助金の申請が情報不足等で少なかった時期もありましたが、最近では、申請するクラブが増えてきているので、今後は審査基準も

厳しく、補助金割合も減率の方向かと推察されます。

財団の補助金についての、地区からレクチャーを受ける機会は、年に3回あります。

一つは、3、4月に行われる地区研修協議会の分科会の

財団委員会、7月に行われる財団セミナー、10、11月に行われる地区財団補助金管理セミナー、これは、クラブから最低1名参加し、3月までにMOU（覚書）を提出して初めて補助金の申請ができる権利を得るという事となります。そして、4月末までに地区補助金を申請するという流れです。

以上、そうかだから寄付しなめればならないとご理解いただけたと思います。

寄付をよろしくお願いします。

・次回のプログラム

11月22日（金）12：30～

「家庭集会報告例会」

会場 ANA クラウンプラザホテル

担当：奉仕プロジェクト委員会

点 鐘 佐藤会長

今週の会報担当：佐藤 真之介会員